

風の路からの お知らせとお願い

地域に新しい風を!

事業実施紹介コーナー -6月~8月実施分-

6/26 そば打ち体験

若柳「むさし鯨」のご主人のご厚意でそば粉を練って本格的にそば打ちを楽しみました。試食した皆さんは「おいしい!!」と大絶賛。

7/2 大正琴演奏会

石越愛好会の皆さん17名の方々の生演奏を堪能しました。

7/4 三線(さんしん)ボランティア 来所

沖縄県を代表する楽器である三線。栗原市志波姫の鹿野友里さんが、素敵な音色を奏でて下さいました。

7/10 石越保育所の園児が来所

元気な子どもたちの歌と踊りに参加者全員が癒されました。今度は12月予定。

7/18 健康運動指導士によるレクリエーション

楽しみながら手軽にできる体操で気分爽快。

7/24 中田・石越の「足もみ隊」によるフットセラピー

昨年大好評だったフットセラピー。ショートステイ利用の方からも大絶賛でした。



8/9~10 ジュニアボランティアによる体験学習

2日間で10名の中学生・高校生がユニットに入り、入居者・利用者の方々と触れ合いお互いが笑顔の多い一日でした。



8/19 伊豆沼ハス見学会

開所以来、初めての大型バス外出と、満開のハスの花に参加者は心穏やかに楽しみました。

地域の皆様のご厚意と善意に感謝申し上げます。

ボランティアの方
お待ちしております。

*「お話しボランティア」

ユニットで入居者との話し相手はいかがでしょうか?
馴染みの関係が生まれ、入居者とつながるきっかけに。

*「歌うボランティア」

風の路のパブリックスペースのカラオケで、入居者の皆さんと、童謡・演歌・民謡など、一緒に歌いましょう。

*「おいとこボランティア」

歌・踊りを教えていただけませんか?
入居者はおいとこが大好き。その他にも楽器演奏・絵手紙・書道・ちぎり絵・陶芸等 何でもOK。まずは「風の路」にお出かけ下さい。

今後の行事あれこれ

(定期的な行事)

①ほっとサロン「あじさい」

毎月第1火曜日 午後2時~3時

②「風の路出店」

毎月第1火曜日 午前10時~11時30分
パブリックスペースにて。

③石越理容組合「風の路とこや」

毎月希望の月曜日 午前10時~11時30分

11/3 風の路まつり

年1回、地域の方々と風の路の入居者との交流です。豪華イベントが盛り沢山。

11/中旬 プロの寿司職人による実演会(初)

「本物を」見て、感じて美味しさを味わうひと時。居ながらにしてお店気分。

11月下旬~12月中旬

介護出前隊「備えてあんしん塾」

町内2地区の集会所で介護出前講座を実施。

お知らせ

○風の路「パブリックスペース」ご利用下さい。教室・習い事・見学・団らんの場OK。連絡下さい。

○「ご意見箱」設置しています。ご意見をどうぞ!

○ショートステイは1日~30日間の利用可能で送迎あり。お気軽にご相談下さい。

電話 0228-34-4165 (よいろ-ご)
FAX 0228-34-4166

編集後記

今号は、フットセラピーやハス祭りの様子、中庭やユニット調理等、風の路の全体の様子をお伝えしました。「風の路」は、地域の方々の生のご意見をいただき、ボランティアの方々をはじめ皆様の交流の場として、ご利用いただくところです。また、入居者の方々は家と同じ感覚で暮らすことができ、中庭では花や野菜を育て、ユニットでは調理を楽しんでおりますが、紙面からその光景をお分かりいただけましたでしょうか。

風の路は多くの方々のご支援とご協力をいただきながら、これからも歩いて参りたいと考えております。今後とも宜しく願いいたします。
風の路 広報委員会一同

風の路だより

2012年9月 第5号

基本理念

これまでの生き方を尊重し、地域との絆を大切にして笑顔で居心地の良い暮らしをつくりまします。



「あー気持ちいいねー」とどこからともなく聞こえてきます。いつもは控えめでユニットからあまり出て来られない方もフットセラピーだと聞きつけ出てこられました。あまりの気持ちよさにウトウトとされる方もおりその成果は絶大です。

ボランティアと世間話をしながらのフットセラピーは地域の交流の場ともなっており、終わった後は満足そうに笑顔でユニットに戻られました。

後から感想をうかがったところ、「フットセラピーをしてから足の痛みがなくなった。」「初めて行きましたがとても気持ちいい。」「1か月に1回、いや週に1回、お金を出してもいいからして欲しいな」等たくさんの方が聞かれました。今後については只今、試案中です。



石越保育所から小さなお客さま!!



手づくりのプレゼントに思わずニコリ

7月10日に石越保育所の子どもたちとの交流会があり、17名の子どもたちの元気いっぱいの歌や踊りに目を細める入居者さんたち。子どもたちと一緒に手遊びをしたり、手作りメダルを首にかけてもらつと、手招きをしたり、

手をつないでなかなか離さなかったりと、一年に一回の触れ合いを満喫していました。「もっとこっちゃん、こう〜。」と、いつもより元気な入居者の声。今度は保育所にお邪魔する事を約束し笑顔でお見送りしました。

ハスの花に大きな歓声!

初めてのドライブで心ウキウキ

8月19日の日曜日、夏本番の青空のもと、元気いっぱいの入居者の皆さんは伊豆沼のハスの花見学に出かけました。バスに揺られること20分、あたり一面に咲き乱れるピンクのハスの花が見え

ると、車内に歓声があがりました。間近で見るハスの花に目を輝かせて、普段以上に会話が弾んだ様子。美しいハスを眺めながら冷たいジュースで乾杯すると、車内は一層なごやかさを増しました。



さあ出発



入居者の感想

M・Tさん (70代 女性)

「きれいな花をみると何だか元気が出るね。天気も良くてとても気持ちよかった。いつまで眺めても飽きない、やっぱり花はいいね。」



M・Hさん (80代 男性)

「あたり一面に咲いていて驚きました。色鮮やかな花を馴染みの人たちと見て、静かでゆっくりとした時間を過ごせました。」



車中では童心にかえって



花と野菜でにぎわう自慢の中庭



土と花々にいやされます

さくら・あじさい・りんどう・さざんかの各ユニットでは様々な花や野菜を、入居者と一緒に育てています。暑い夏の日差しにも負けずに、ぐん

ぐんと成長する花と野菜たち。収穫した野菜は厨房で調理し食卓を彩ります。

穫れた野菜で舌つづみ!



ユニット調理でお家の気分

5月21日、あじさいユニットにてユニット調理が行われました。ユニット調理をすることで、入居者の皆さんとユニットと厨房の職員が家庭的な雰囲気を味わいます。メニューは入居者の方からリクエストによる「あんこぱっと」と「酢の物」。はとつみと酢の物のあえ方など、入居者

の皆様の長年の料理の手さばきは素晴らしいものでした。「はとつみ、何回もしたんだおん」「懐かしいね〜」など楽しそうに作られ、ユニット内に素敵な笑顔が広がりました。力を合わせて完成させたお昼ごはんの味は格別でした。



地域の人々と自然ふれあふれし
 豊かさを